

# 水稻の生育状況と当面の対策

基本技術を励行して消費者に「おいしいお米」を届けよう！

URL: [http://www.agri.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/08engei/nousan/suitou\\_seiku/](http://www.agri.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/08engei/nousan/suitou_seiku/)

第 3 報  
千葉県農林水産部  
平成20年6月26日

## 7月に入って低温の場合は深水管理！

### [生育概況]

#### 幼穂形成期は平年に比べ2～3日遅れ（表1、2を参照）

6月上旬に梅雨入りとなり、気温は平年並みに推移し、日照時間は平年よりも多くなりました。

幼穂形成期は平年に比べ2～3日遅く、4月20日植え「ふさおとめ」は6月19日から、「ふさこがね」は6月21日からとなりました。なお、「コシヒカリ」は、6月28日頃からと予想されます。

生育は、草丈が平年並みで、葉色のさめが遅れ、後から発生した分けつが目立つことから、茎数がやや多いものの、無効分けつの割合が大きくなることが見込まれます。

突発的な低温に注意が必要な時期です。気象情報には十分注意し、必要な対策が遅れないようにしましょう！

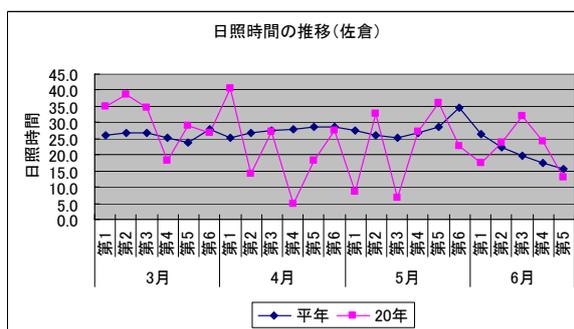
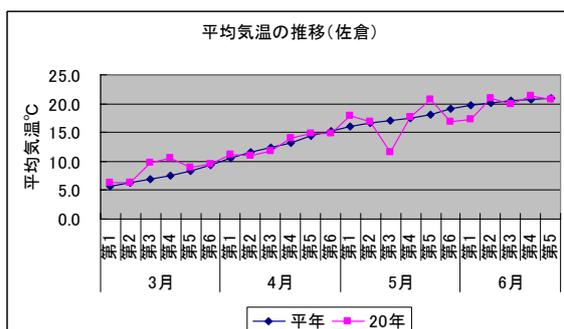
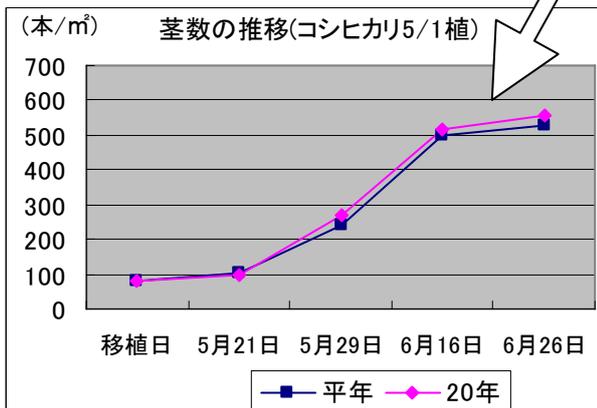
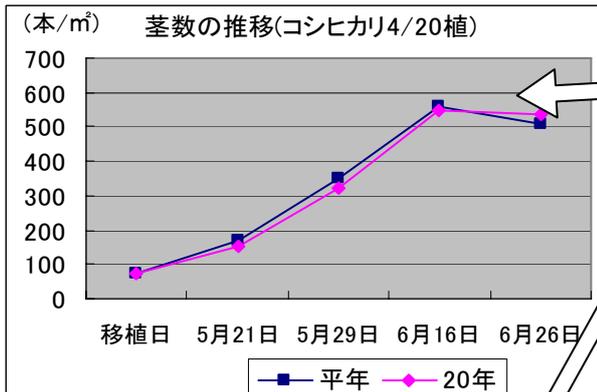
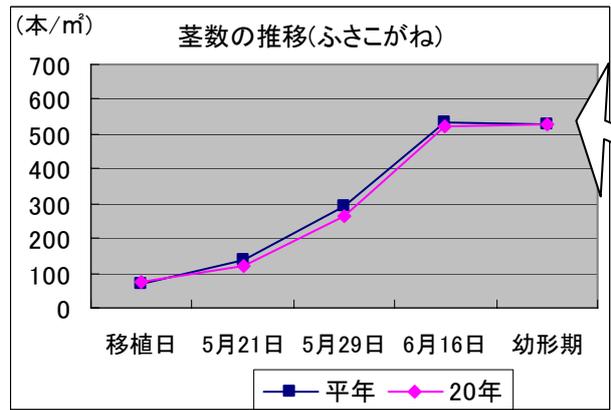
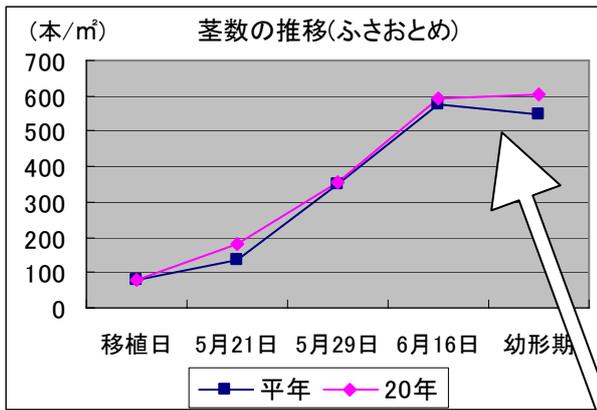


表1 品種別の生育状況（6月26日現在）

品種	植付時期	平年遅速	平年比		
			草丈	茎数	葉色
ふさおとめ	4月20日頃	やや遅	並	多	並
ふさこがね	4月20日頃	やや遅	並	やや多	並
コシヒカリ	4月20日頃	やや遅	並	多	濃
	5月1日頃	並	やや低	やや多	並

※ 平年比は過去5か年（2003～2007年）平均値との比較です。

※ ただし「ふさこがね」は過去2か年との比較です。



いずれの品種も、茎数の低下が平年よりも遅くなっています。

葉色のさめも遅くなっています。

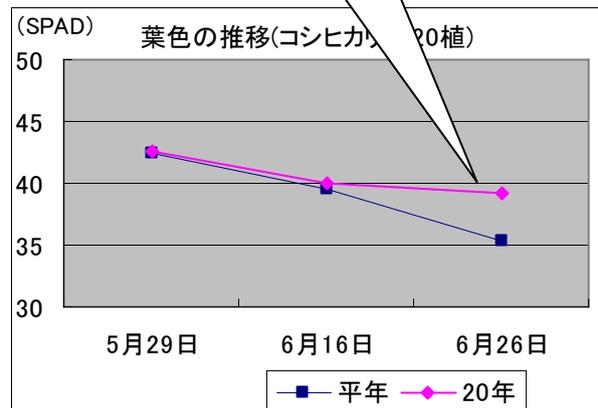


表2 「コシヒカリ」の幼穂形成期予測

品種	植付時期	幼穂形成期予測 (月日)			
		県北	九十九里	内湾	県南
コシヒカリ	4月20日	7月3日	7月1日	6月28日	6月28日
	5月1日	7月7日	7月5日	7月4日	7月4日

※ 「コシヒカリ」の予測はメッシュ予測による。

## [これからの管理のポイント]

### 低温になったら深水管理！ (表3を参照)

梅雨が明けるまでは、気温の変化が大きく、管理には十分注意が必要です。平均気温が20℃以下の場合、15～20cmの深水管理に努めましょう。

表3に示すとおり、「ふさおとめ」は7月1日から、「ふさこがね」は7月3日から冷害危険期となります。

表3 早生・中生品種別の冷害危険期と出穂期の予測 \*予測日から8日間を「冷害危険期」とする。

品種	植付時期	冷害危険期予測 (月日)				出穂期予測 (月日)
		県北	九十九里	内湾	県南	
ふさおとめ	4月20日	7月 5日～	7月 4日～	7月 2日～	7月 1日～	7月18日～
ふさこがね	4月20日	7月 7日～	7月 6日～	7月 4日～	7月 3日～	7月20日～
コシヒカリ	4月20日	7月12日～	7月10日～	7月 9日～	7月 9日～	7月24日～
	5月 1日	7月17日～	7月15日～	7月14日～	7月14日～	7月29日～

※ 「ふさおとめ」、「コシヒカリ」の予測はメッシュ予測による。

※ 「ふさこがね」は、幼穂形成期実測値からの推定による。  
「幼穂形成期」とは1mm以上の幼穂が80%以上になった時

### ふさおとめ

#### 間断かんがいで根の活力を維持！

幼穂形成期から出穂、登熟期間は、間断かんがいで管理しましょう。

### ふさこがね

#### 穂肥は早すぎないように！ (表1、4を参照)

「ふさこがね」は6月30日頃から穂肥の施用時期(幼穂長1cm、出穂18日前)を迎えます。幼穂形成期の葉色がやや濃いので、穂肥は早すぎないようにしましょう。

早過ぎると籾数が多くなりすぎて、一籾当たりの栄養分が少なくなったり、成熟がバラついたりすることから、品質が低下しやすくなります。

表4 「ふさこがね(4月20日頃植え)」の幼穂形成期頃(6月25日調査)における生育状況

	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉色 (SPAD値)	茎数×葉色/m <sup>2</sup> (SPAD値)
本年	56	525	42.3	22208
目標値	60~65 以下	450~ 550	38~42	18000~ 22000

※数値は作柄安定対策調査ほの5圃場平均

#### 間断かんがいで根の活力を維持！

幼穂形成期から出穂、登熟期間は、間断かんがいで管理しましょう。

## コシヒカリ

### 適切に穂肥を！（表2を参照）

「コシヒカリ」の幼穂形成期は6月28日から、穂肥施用適期は7月5日頃からと予測されます。幼穂をよく観察し、適期に穂肥を施用しましょう。

## 品種共通

### ほ場を見回り、いもち病の適期防除を！（表5を参照）

「いもち病」は、平均気温20～25℃で雨が多く日照不足のときには発生しやすくなります。「葉いもち」は「穂いもち」の原因となるので、ほ場をよく観察し、発生が認められた場合は速やかに防除しましょう。

表5 いもち病の主な防除薬剤

対象	薬剤名	使用時期（使用回数）	10aあたり 散布量
穂いもち （予防）	オリゼメート粒剤	出穂3～4週間前（2回）	3～4kg
	フジワン粒剤	出穂30～10日前（3回）	3～5kg
	コラトップ粒剤5	出穂30～5日前（2回）	3～4kg
葉いもち （予防・治療）	ブラシン粉剤DL	収穫21日前まで（2回）	3～4kg
	ヒノザン粉剤DL	収穫21日前まで（3回）	3～4kg
	カスラブサイド粉剤（含DL）	収穫21日前まで（4回）	3～4kg

※予防：病害が発生する前に効果がある      治療：病害が発生したごく初期に効果がある

詳細な情報は[病害虫防除課のホームページ](#)を参照してください。

### 稲こうじ病の予防（表6を参照）

過去2か年は稲こうじ病が多発しました。穂ばらみ期から出穂期に降雨が多い条件で発生が多くなります。

前年度に多発したほ場では、農薬の使用基準に留意して必ず防除しましょう。

また、米の検査では稲こうじ病菌により玄米が損傷を受けたり、菌の塊が混入していると、精米した場合、着色するなど品質に大きな影響を与えるため、検査では規格外となることから注意しましょう。

表6 稲こうじ病の主な防除薬剤

薬 剤 名	使用時期	10アールあたり 散布量
モンガリット粒剤	収穫45日前まで	3～4kg
ブラシフロアブル 1000倍液	収穫21日前まで	120～150L
ブラシン粉剤DL	収穫21日前まで	4kg
ラブサイドベフラン粉剤DL	穂ばらみ期～穂ぞろい期	3～4kg
Zボルドー粉剤DL	出穂10日前まで	3～4kg

注)モンガリット粒剤は出穂前3～2週間前に、必ず湛水した水田に処理し、その後7日間は止水するようにします。



ふさこがね 6月26日 千葉市緑区刈田子町